



朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。初雪も降り、これからやってくる本格的な冬に向けて、かぜに負けないじょうぶな体作りを心がけましょう。

これからインフルエンザや感染性胃腸炎などが流行しやすい季節になります。保育園でも感染予防のため、手洗い・うがいや換気、環境整備（加湿、消毒、掃除など）に充分気をつけていきたいと思えます。また、感染症が発症しましたら、玄関の掲示板でお知らせしていきます。

ご家庭でもお子さんの健康管理に気を配り、心配なことがありましたら、園にお知らせ下さい。

10・11月の感染症罹患状況（10/20～12/4）

溶連菌感染症 1名

10月からは、感染症による欠席が少ない状況が続いています。11月中旬から、おもにすずらん組で心配された「お腹のかぜ」は、現在はすっかり落ち着いています。これから気温が下がってきて、咳や鼻水・発熱などのかぜ症状での欠席が多くなってきます。熱がないから…と放置せずにきちんと受診しましょう。またマスクをつけるなど、咳エチケットにも配慮しましょう。

インフルエンザを予防しよう！



これからの季節、気をつけたいのが冬の感染症。インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶連菌感染症などの流行が心配されます。

昨年(平成30年)の1月、土沢保育園ではインフルエンザA型の大流行により3日間の休園措置を行いました。家族から感染した園児が保育園で発症し、その後そのクラスから感染が急に拡がりました。

岩手県内はインフルエンザの流行期に入っています。保育園でのインフルエンザの感染拡大防止のため、次の点についてご理解とご協力をお願いします。

- ・インフルエンザの予防接種を受けましょう。
- ・同居している家族がインフルエンザに罹っている場合は必ず保育園にお知らせください。
- ・園児のご兄弟がインフルエンザに罹っている場合は、できるだけ家庭保育をお願いします。

インフルエンザの登園停止期間は、発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで(発症日と解熱した日は0日とします)です。それ以降でも咳がひどかったり食欲がなかったりする場合は、家庭療養をおすすめします。

保育園でも、鼻水が出たり、咳が出たりしているお友だちが増えてきています。

手洗い・うがいが感染症の予防の基本です。また、規則正しい生活で、ウイルスを寄せつけない強い体をつくることも、重要な感染症の予防法です。ご家族みなさんと、気をつけましょう。

せけんて
手を洗う



がらがらうがい



早寝早起き



3食
しっかり食べる



「視力検査」についてのお知らせ

今年度も、弱視の早期発見ため、3歳児以上(すみれ・すずらん組)の園児の視力検査を行います。ゆり組は就学時健診で視力検査をしているので、保育園では行いません。今月、問診票(後日配布)によるチェックの後、職員による視力検査を行います。

保育園での視力検査はあくまでも目安ですので、詳しい検査は眼科を受診して下さるようお願いいたします。対象となったお子さんには後日連絡いたします。

